

平成 25 年度第 1 回 横浜市建築物環境配慮評価認証委員会 会議録	
日時	平成 25 年 9 月 25 日 (水) 午後 3 時から午後 5 時まで
開催場所	横浜新関内ビル 11 階会議室
出席者	委員 岩村 和夫 会長 岩田 利枝 委員 吉崎 真司 委員 園田 真理子 委員
	説明者 (計画概要の説明) 株式会社 東芝
	事務局 平野 建築局 建築審査部長 保坂 建築局 建築審査部 建築環境課長 平野 建築局 建築審査部 建築環境課 建築環境担当係長 建築局 建築審査部 建築環境課 城向、北川
欠席者	委員 伊香賀 俊治 副会長
開催形態	非公開
議題	株式会社東芝電力システム社京浜事業所 1 号館 について
決定事項	S ランクにて認証
議事 (概略)	<p>CASBEE の評価全般について</p> <p>【Q3-1 生物環境の保全と創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地特性の把握については、潜在自生種の把握だけでなく、沿岸部や埋立地といった特殊環境に緑をつくることに対して配慮がされていることを評価する。 ・地域住民が生物と触れ合える施設については、一般に開放して設置されているというだけでなく、その場所の性質に応じて、地域住民を呼び込むような提案もされるべき。 <p>【Q3-2 まちなみ・景観への配慮について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点場は、良好な景観が得られる場として、多くの人が公共的な空間の中に共有しているものである。そこから見える景観に配慮するということが重要である。 <p>【Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上、LR3-2.2 温熱環境悪化の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の風を分析した結果に基づき、配慮した建物配置・形状とすることを評価する。 <p>評価された主な環境配慮項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震や津波等の災害対策を兼ね備えたオフィスビル ・高性能外皮材の採用、全館 LED 化や照明制御システム導入などによる高効率設備による省エネ ・BEMS と建築主・設計者が一体となった PDCA サイクル構築による省エネの推進 ・工場地帯の立地特性に応じたビオトープを含む緑の整備
資料	1 建築物環境配慮評価認証計画書 2 設計趣旨及び建築計画概要

本会議録は、平成 25 年 10 月 16 日各委員に確認を得、確定しました。